

平成23年 防火図画・標語決定!

題名『今、すぐ消すぞ!』



管内小学生から応募のあった防火図画・標語作品の中から最優秀賞が決定しました。
これらの作品は、今後一年間管内（十和田市・六戸町）の防火ポスターに使用されます。

呼びかけで
みんなにうつなごう
防火の輪

防火図画の部

下切田小学校 4年1組

はたやま あやか
畑山 彩華さん

ニュースなどで火事の怖さを知り、火事に気をつけてほしいと思います。書きました。



防火標語の部

六戸小学校 6年2組

はたけやま しょうたろう
畠山 翔太郎君

みんなが「火の元に注意」と声をかければ火事がなくなると考えました。



No.80 2011.10.1

編集発行

十和田地域広域事務組合消防本部

〒034-0082

十和田市西二番町7-10

TEL 25-4 1 1 1

FAX 25-4 1 1 7

消防広報 119

FIRE EMS RESCUE

秋の火災予防運動

10月17日(月)~23日(日) ※湖畔地区を除く



つけてて良かった！

\(^o^)/



住宅用火災警報器（住警器）で多数の命が救われています。

寝ているときに...

アパートの一室で男性が寝ていたところ、住警器の警報音で目が覚め、隣室から煙が入ってきているのに気付いた。男性は娘と妻を起こし、119番通報した後、全入居者のチャイムを鳴らし火事を知らせながら避難した。（十和田市）



料理をしていて...

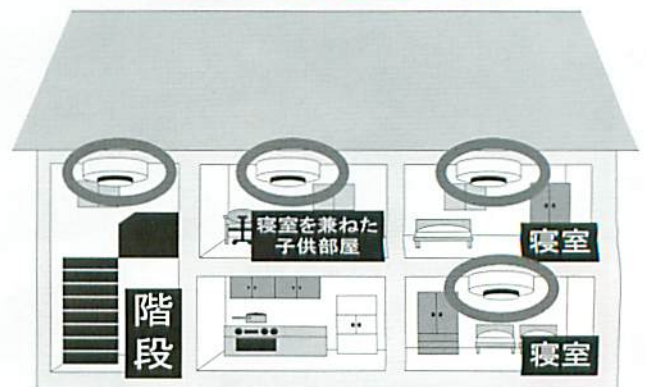
祖母が台所で魚を焼き、火を消して焼き魚を居間に持って行くと台所の住警器が鳴った。台所の方を見ると室内に煙が充満しており、ガスコンロのグリル内がオレンジ色に見えたので慌てて2階にいる孫を呼んだ。孫は119番通報後、ガスコンロのグリルを引き出し、濡れ雑巾を被せ初期消火をした。建物に損害はなく、家族全員無事であった。（十和田市）



気付かぬところで...

妻が階段上に設置してある住警器が鳴っているのに気づき2階の廊下に行ってみると、子供部屋から煙が出ていた。「火事だ」と叫ぶ妻の声で夫が子供部屋へ入るとストーブや毛布、カーテン等が燃えていた。水を含ませた毛布で初期消火し、消防隊が到着した時には火が消え、家族全員無事に家の外へ避難していた。（十和田市）

住警器が必要な場所



※建物に応じて他にも必要となる場合があります。



**住警器は火災から身を守ってくれます。
まだ設置していないお宅は、早急に設置してください。**



消防関係講習会・資格試験のお知らせ

試験及び講習名	種別	実施日	受付期間	会場	問い合わせ先
危険物取扱者試験	甲種	平成24年2月18日	平成24年 1月5日～17日	八戸市：八戸大学	(財)消防試験研究センター 青森県支部 TEL 017-722-1902
	乙種	平成24年2月19日		青森市：東奥学園高等学校	
消防設備士試験	全種全類	平成24年1月28日	12月7日～16日	八戸市：八戸工業高等学校	
		平成24年1月29日		青森市：青森戸山高等学校	
消防設備点検資格者再講習	第1種	11月29日	11月1日～15日	青森市：青森国際ホテル	
	第2種	11月30日			
防火管理新規講習	甲種	11月15日～16日	10月24日～11月7日	青森市：ホテルクラウンパレス青森	

たくさんのご厚意に感謝します

昨年11月10日、ゴルフ愛好者でつくる百切会（ももきりかい）様から救急車用冬タイヤの寄附がありました。十和田消防署に配備されている救急車用として使用いたします。



管理者十和田市長に目録を渡す百切会代表岩城康次さん（中央）と澤谷則雄さん

また、今年6月28日には小山田 敬様から患者搬送用スケッドストレッチャー（担架）の寄附がありました。この担架は、柔らかく小さく丸めて収納し、背負って運搬することができます。



担架の収納時



担架を使用した青森県総合防災訓練の様子

8月27日に行われた青森県総合防災訓練では、狭い場所からの救出訓練で使用いたしました。

たくさんのご厚意ありがとうございました。

十和田西高校少年消防クラブ結成

8月29日十和田西高等学校で少年消防クラブの結成式が行われました。高校生による少年消防クラブは、東北地方で2校目となります。

今後は各種行事に参加し、地域防災のために活躍します。



子供用避難キットの準備も！

突然の災害や避難所生活は、小さいお子さんにとって大きなストレスになります。非常持出袋に子供用の避難キットも追加しましょう。

- 緊張をほぐすための「お気に入りの本、筆記用具、ノート」
- 家族と離れ離れになってしまった時のための「裏に名前や連絡先を書いた家族の写真」
- 子供自身が持ち運べる量の「お菓子、水」など



消防ふれあいフェスタを開催しました！



十和田消防署では、9月9日から11日に行われた十和田市秋祭りに合わせて、地域住民の防火意識の向上を目的とした消防ふれあいフェスタを開催しました。

今年は3日間で約1,750名の来場者がありました。



平成21年・平成22年の災害発生状況

管内の災害件数（十和田市・六戸町）

種別	平成21年	平成22年	前年比	概要
救急件数	2,274	2,373	99	平成22年の救急で最も多いのは「急病」で1,424件、「交通事故」264件、「一般負傷」246件の順となっています。また、救急件数は年々増え10年前と比べて405件（20.5%）増加しています。
火災件数	45	43	-2	平成22年の火災の原因で最も多いのは「たき火」で11件、「放火」9件、「ガスコンロ」6件の順となっています。
救助件数	60	48	-12	平成22年の救助で最も多いのは「交通事故」で33件、「建物による事故」4件、「水難事故」4件、「火災」2件の順となっています。
その他の件数	152	239	87	平成22年のその他の件数で最も多いのは「救急支援等の出動」90件、「車両事故による油漏れ」31件の順となっています。



消防団員募集のお知らせ

十和田市・六戸町の消防団では、消防団員を募集しています。

入団の資格要件は次のようになっています。

1. 当該消防団の区域内に居住又は勤務する方
2. 年齢18歳以上の方
3. 志操堅固でかつ身体強健な方

「私たちの街は私たちが守りましょう!!」



募集中!

消防を支える底力。
あなたの街のサポーター。

【消防団に関する問い合わせ先】

十和田市消防団 ☎25-4111
消防本部警防課 消防団係
六戸町消防団 ☎55-3111
六戸町役場 総務課

- ・災害テレホンガイド ☎22-9922
- ・救急医療情報 ☎23-4999
- ・六戸町防災無線テレホンガイド ☎55-4466

「救急支援等の出動」の業務について

皆さんは、火事でもないのに救急車と消防車が一緒にサイレンを鳴らして走行している光景を目にしたことはありませんか？「救急支援等の出動」には次のような業務があります。



- ・救急隊員だけでは傷病者の搬送が困難なとき。（高所等）
 - ・ドクターヘリの出動に伴い、ヘリの誘導や着陸場に危険がないように警戒するとき。
 - ・近くの救急車が出動中で救急車の到着が遅れると判断されるとき等があります。
- 救急支援等で出動する消防車には、災害の状況に応じ救急隊員と同じ資格を持った隊員が乗っていきますのでご安心ください。

問い合わせ先

十和田地域広域事務組合

- ・消防本部（代表） ☎25-4111
- ・消防本部予防課 ☎25-4113
- ・十和田消防署 ☎25-4115
- ・十和田湖消防署 ☎72-2241
- ・湖畔出張所 ☎75-1011
- ・六戸消防署 ☎55-2016

